

# 家庭系収集ごみ有料化に向けた 地域意見交換会 資料

現在、本市では「家庭系収集ごみ有料化」の実施に向けて検討しています。  
この施策を進めていくため、平成27年3月に「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」  
を策定しました。



つながる未来へ

知多市

知多市環境経済部  
ごみ対策課

# 「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」について



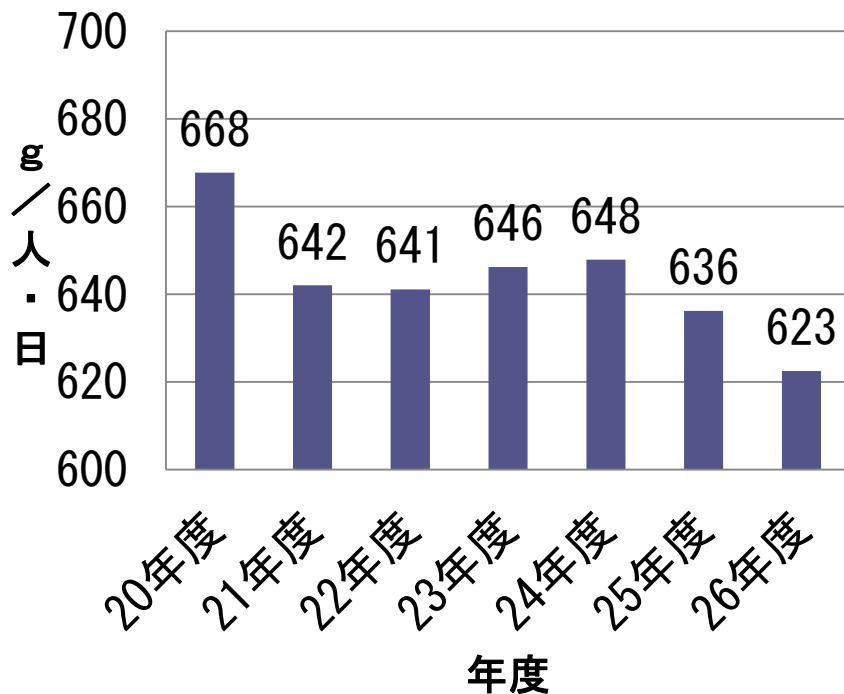
# 1 ごみ処理の現状と課題

## ○ごみ処理の現状

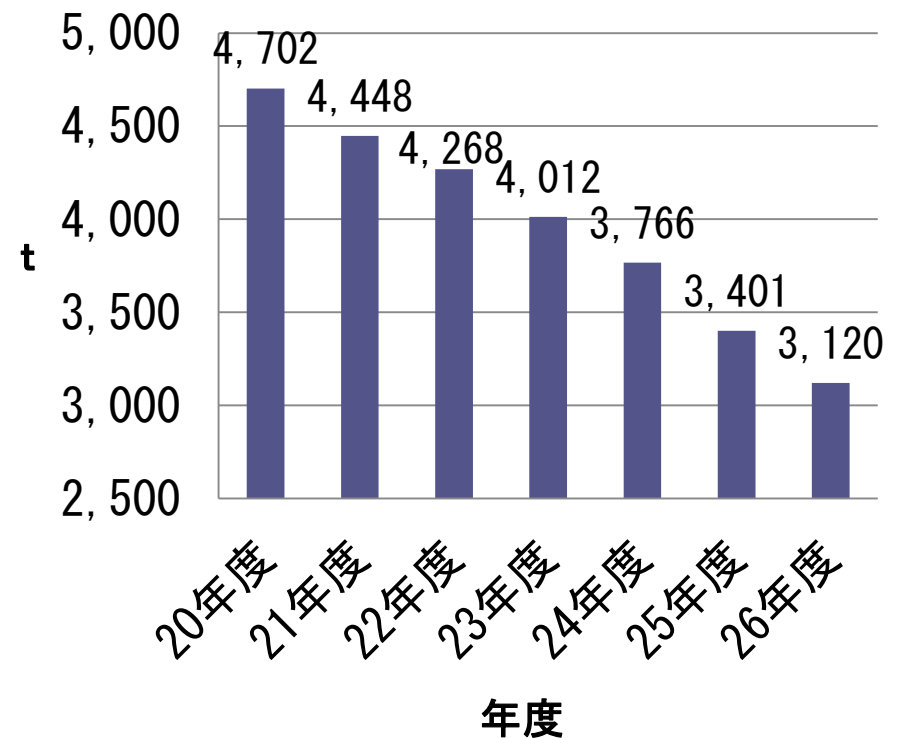
### 【ごみ排出量と資源回収量の現状】

- ・ 家庭系ごみの排出量は、近年、横ばい状態（減量が進んでいない状況）
- ・ 1人1日当たりの排出量636g → 県内自治体の平均より約100g多い  
(平成25年度愛知県一般廃棄物処理事業実態調査)
- ・ 資源回収量は年々減少
- ・ 家庭系ごみには再生可能な紙類、ペットボトル、飲料缶等が多く混入

＜家庭系ごみ1人1日当たりの排出量＞



＜資源回収量＞





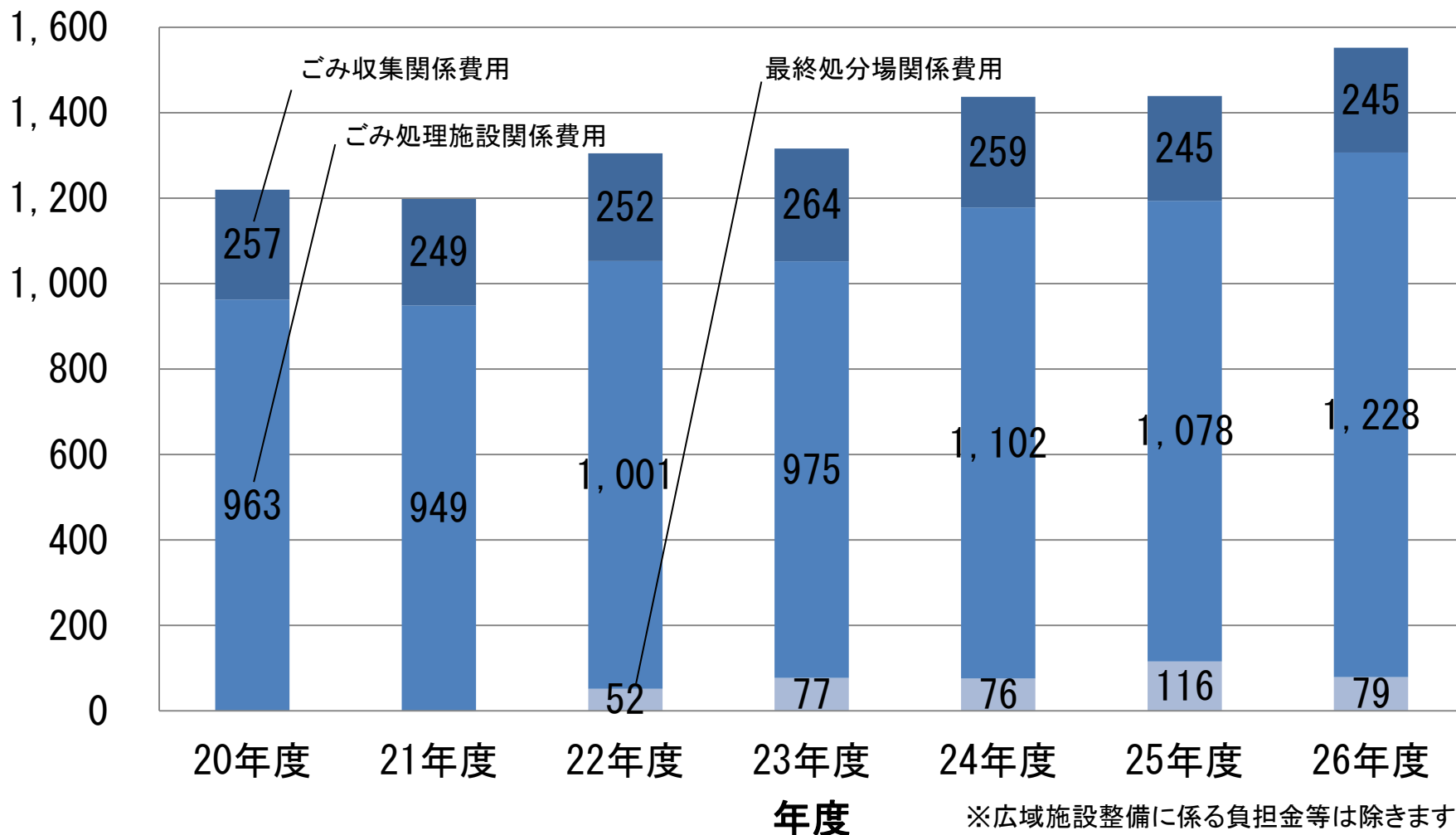
# <ごみの排出状況> ~~~可燃物・不燃物のごみ内容物調査~~~



## 【ごみ処理費用の現状】

- ・ごみ焼却施設が稼働から12年が経過し、修繕費等の維持管理費用が大幅に増加
- ・平成25年度のごみの処理費用は約14億4千万円  
(家庭系ごみの処理費用は約11億3千万円)

### ごみ処理費用



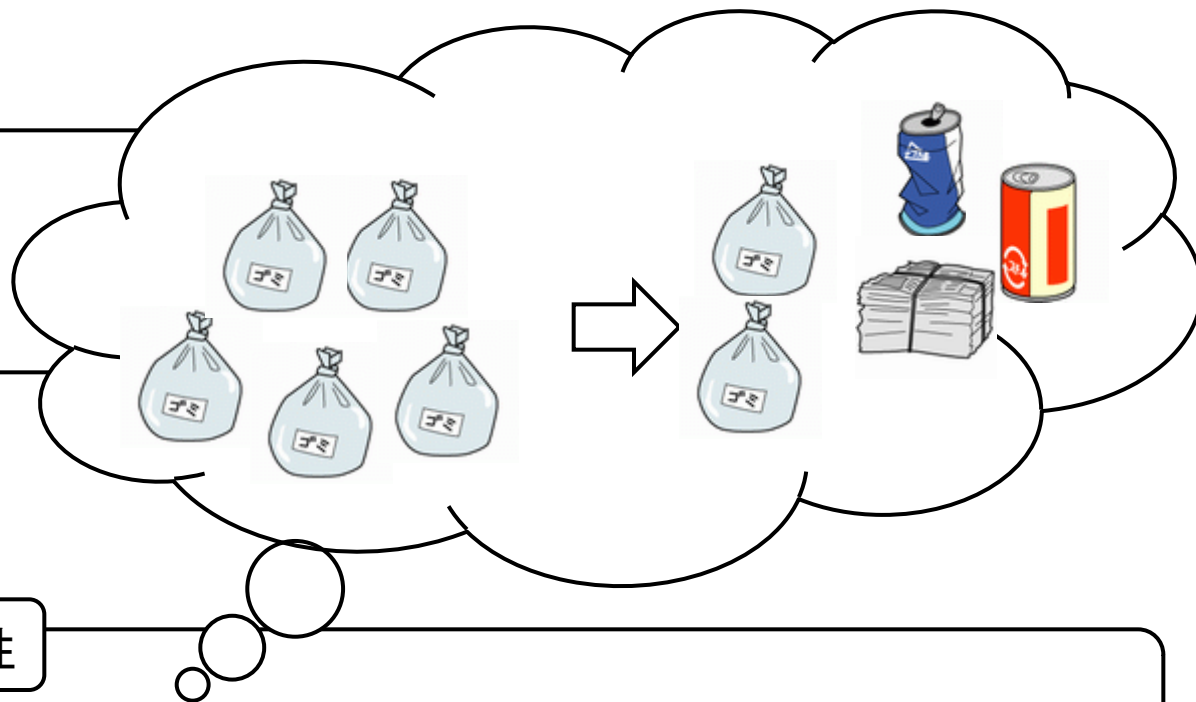
※広域施設整備に係る負担金等は除きます。 5



## ○ごみ処理の課題

### ごみの減量と資源化の推進

- ・家庭系ごみの減量が必要
- ・資源化の推進が必要



### ごみ処理の費用負担の公平性

- ・ごみ減量に積極的に取り組んだ市民には、負担軽減される仕組みづくりが必要

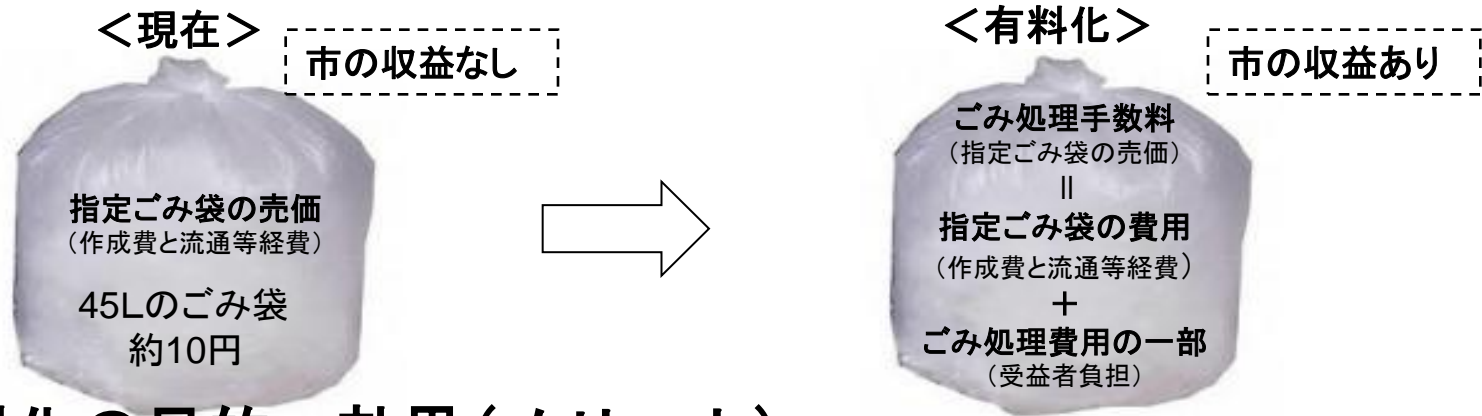
### 増大するごみ処理費用

- ・ごみ処理費用の削減が必要
- ・平成35年度までに東海市と共同で新しいごみ処理施設を建設するための多額の費用が必要

## 2 有料化の目的と効果

### ○有料化の仕組み

家庭生活から排出されるゴミについて、適正に処理するためのゴミの処理費用の一部を排出量に応じ、手数料としてゴミを排出する市民の方に負担を求める仕組み。



### ○有料化の目的・効果(メリット)

ごみの減量と  
資源化の推進

- ・ ゴミ処理費用の減少（燃料費等）が期待できる。
- ・ 資源回収量増加による歳入増が期待できる。

ゴミに対する  
意識の向上

- ・ ゴミと資源を分別してもしなくても同じ…
- ↓
- ・ ゴミの量に応じてゴミ処理費用を負担しなければならない。

ゴミ処理費用の  
削減と財源の確保  
(次期清掃センターの  
建設費用など)

負担の公平性  
の確保

- ・ ゴミ減量の努力による経済的負担減

### 3 有料化の制度内容

#### ○有料化の対象

「可燃物」と「不燃物」

#### ○手数料の設定

ごみ処理費用、周辺自治体の手数料の状況、手数料に対する市民の受容性やごみ減量の動機付けとしての有効性を考慮し、指定ごみ袋の容量の選定も併せて、設定。

#### ○手数料の免除

乳幼児、高齢者、障がいのある方が利用する紙おむつなど、努力による排出量の削減が困難なごみについては、費用負担の公平性から配慮を検討。

#### ○手数料の使途

家庭系収集ごみ有料化に伴う手数料収入は、ごみ処理と資源化に要する費用や新たな施策のための財源として活用。

#### ○実施スケジュール

平成27年度	平成28年度	平成29年度
意見交換会 実施計画策定	条例改正 市民説明会	市民周知 実施

#### ○手数料負担の仕組み

賦課方法…「排出量単純比例型」

徴収方法…「指定ごみ袋制」

### 4 ごみの減量と資源化の推進施策等

有料化に併せ、ごみ減量と資源化に効果的な施策の検討。

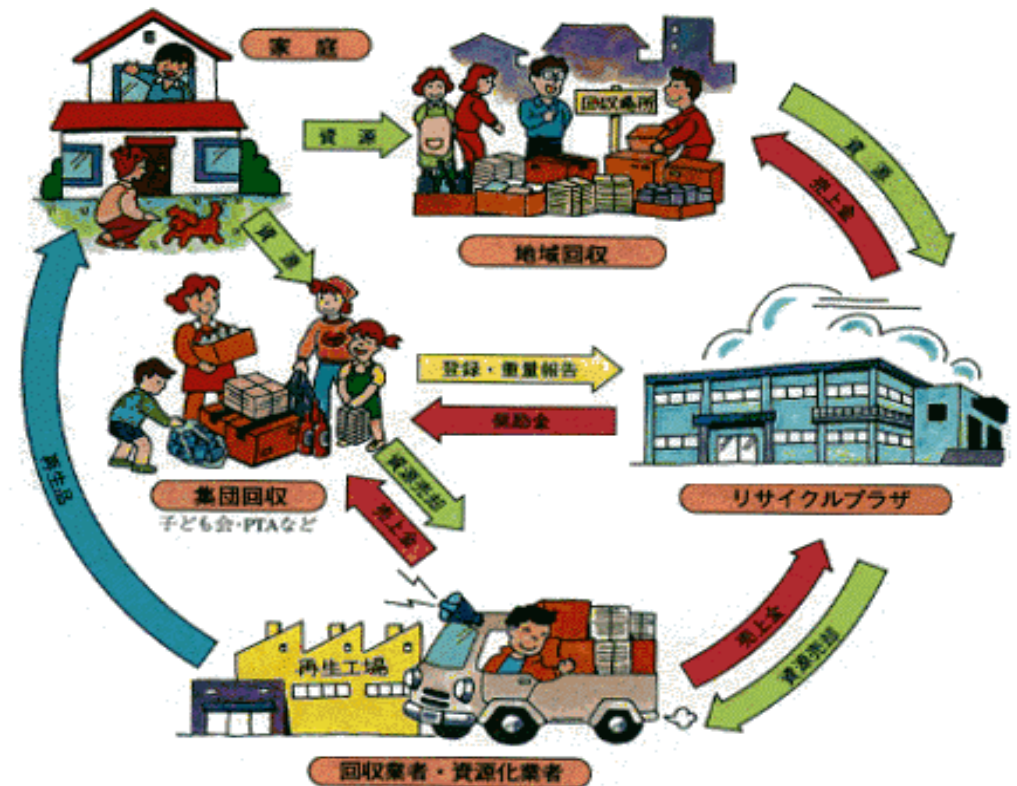
### 5 有料化の周知

有料化の実施には、目的、制度等についての市民の方の理解と協力が不可欠なため、説明会、広報活動によって積極的な周知。



# 本日の意見交換事項

- 1 手数料の設定について
- 2 効果的な施策について



# 1 手数料の設定について

## ○手数料設定の考え方

有料化を既に実施している自治体における手数料の設定の考え方は、ごみの収集・処理に要する総費用の一定割合、近隣自治体の手数料に見合う水準、市民の受容性 等 を考慮して決められています。

### ①ごみの収集、処理に要する総費用 (ごみ処理費用)の一定割合

- ・家庭系収集ごみの収集、中間処理、最終処分にかかる費用の一部を負担していただく。
- ・負担割合は約15%から約30%に設定している自治体が多い。

### ②周辺（先進）自治体の手数料の状況

- ・周辺自治体や先進自治体の手数料水準を参考にする。

### ③市民の受容性

- ・過度の負担となる場合、不適正排出や不法投棄を誘発する恐れがある。

### ④ごみ減量の動機付けとしての有効性

- ・ごみ減量の動機付けが働くような手数料設定が必要。
- ・有料化導入後にリバウンドが起こらないような手数料設定も必要。

## 【①ごみの収集、処理に要する総費用(ごみ処理費用)の一定割合】

＜家庭系収集ごみ処理費用(1ℓあたりのごみ処理費用)＞ ※数値は平成23年度から平成25年度の平均値

処理費用 (千円)	ごみ収集量 (t)	1kgあたりのごみ処理費用	1ℓあたりのごみ処理費用	ごみ袋(45ℓ)のごみ処理費用
1,104,802	18,109	61円	6.1円	274.5円

内訳 可燃物 16,647  
不燃物 1,462

45Lサイズのごみ袋…約4.5kg(排出量重量調査)  
→約0.1kgあたり1ℓ  
(1ℓあたり約0.1kg)

## ＜負担割合ごとの設定＞

負担割合 (10%)	負担割合 (15%)	負担割合 (20%)	負担割合 (25%)	負担割合 (30%)
0.6円/ℓ	0.9円/ℓ	1.2円/ℓ	1.5円/ℓ	1.8円/ℓ
27円/45ℓ	41円/45ℓ	54円/45ℓ	67.5円/45ℓ	81円/45ℓ

## 【②周辺(先進)自治体の手数料の状況】

＜有料化導入自治体の状況(県内)＞

(排出量単純比例型)

自治体名	犬山市	常滑市	幸田町
導入年月	H21.7	H24.10	H17.4 (手数料改定)
手数料設定(円/ℓ)	0.6~0.7	1~1.1	1

(一定量無料型)

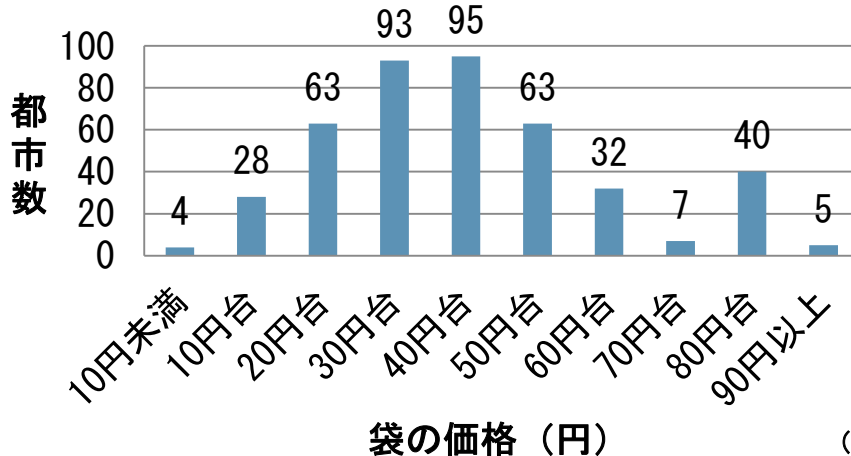
碧南市	東海市	高浜市
H11.7	H7.12	S45.6
1	2.75	1.1~1.2

＜有料化導入自治体の状況(全国)＞(平成24年10月以降の導入自治体)

自治体名	岩見沢市 (北海道)	真岡市 (栃木県)	千葉市	国分寺市 (東京都)	東大和市 (東京都)	鎌倉市 (神奈川県)	美濃市 (岐阜県)	掛川市 (静岡県)	御殿場市 (静岡県)	尾鷲市 (三重県)	生駒市 (奈良県)	大竹市 (広島県)
導入年月	H27.4	H26.4	H26.2	H25.7	H26.10	H27.4	H26.7	H27.4	H27.4	H25.4	H27.4	H25.10
手数料設定(円/ℓ)	2	1~1.1	0.8	2	2	2	1~1.1	0.72	0.67	1	1	1

### ＜料金設定についての分布(実績)＞

価格帯別都市数(単純従量制・大袋1枚の価格)



### ＜全国市区町村の有料化実施状況＞

区分	総数	実施団体数	実施率
市・区	813	457	56.2%
町	745	518	69.5%
村	183	119	65.0%
合計	1,741	1,094	62.8%



### 【③市民の受容性】

#### ＜1世帯1か月当たりの手数料負担額の試算＞

現在のごみ袋の価格を1枚10円, 45 Lのごみ袋を2枚/週(可燃物), 20 Lのごみ袋を2枚/月(不燃物)に使用すると想定

1 L 当たりの 手数料	①現在のごみ袋の購入費	②有料化実施後の 手数料負担額	負担増額 ②-①
1.5円/L	100円	600円	500円
1.2円/L	100円	480円	380円
1円/L	100円	400円	300円

### 【④ごみ減量の動機付けとしての有効性】

#### ＜料金設定による減量効果＞

大袋1枚の手数料	有料化翌年度	有料化5年後
10円～20円台 (0.25～0.5円/L)	4.1%減	5.6%減
30円台 (0.75円/L)	12.9%減	14.1%減
40円台 (1円/L)	12.2%減	14.1%減
50～60円台 (1.25～1.5円/L)	14.3%減	16.9%減
70円台 (1.75円/L)	17.2%減	22.4%減

家庭から排出される1人1日当たりのごみの量  
(知多市)

**636 g** (平成25年度)

「第3次循環型社会形成推進基本計画」  
の指標と数値目標

(平成25年5月31日閣議決定)

家庭から排出される1人1日当たりのごみの量

平成32年度を目標年次として

**約500 g** にすると設定

## 手数料の設定（案）

＜案1＞1ℓ=1円とし、指定ごみ袋の容量を現行の20ℓから15ℓにしたもの

容量	45ℓ	30ℓ	15ℓ
手数料	45円	30円	15円

(+消費税)

＜案2＞1ℓ=1円とし、指定ごみ袋の容量を現行と同様にしたもの

容量	45ℓ	30ℓ	20ℓ
手数料	45円	30円	20円

(+消費税)

同時に、清掃センターに直接搬入する場合におけるごみ処理手数料(家庭系ごみ123円/10kg, 50kgまでは無料)の改正も行う必要性あり

＜参考＞ 常滑市

容量	45ℓ	30ℓ	20ℓ	10ℓ
手数料	50円	30円	20円	10円

(消費税込)

## 2 効果的な施策について

### ○ごみの減量と資源化施策（案）

#### ●資源の受け入れ体制の拡充

##### 【現在の回収方法】

- ・ 地域回収（行政区ごとに月1回、概ね午前7時30分から8時30分）  
※資源売却代は地区の収入
- ・ 清掃センター、リサイクルプラザへ直接搬入
- ・ 集団回収

##### 【現状の問題点】

- ・ 地域回収には当番者が立会いをしているが、平日の早朝のため勤務に支障が出るケースがある。
- ・ 地域で資源を出す機会が平日の月1回しかない。
- ・ 資源回収場所がよくわからない。（転入者など）

##### 【検討会議における意見】

- ・ 地域回収が平日の早朝のため協力できない方も多いと思うので、回収時間の見直しが必要ではないか。
- ・ 地域回収日を土日にできないか。
- ・ ごみ収集場所における資源回収はできないか。

##### 【検討案】

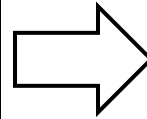
- ・ 資源排出の利便性を高めるため、地域に常設の資源回収場所を設置（民間による設置を考慮）を検討する。
- ・ 地域回収の当番制の存続が困難な地区には、資源売却代の地域還元の範囲内で、シルバー人材センターなどに委託し、対応していく。



## ●資源回収品目の拡大

### 【現在の回収品目】

- ・新聞
- ・ダンボール
- ・雑誌(雑紙)
- ・衣類
- ・牛乳パック
- ・アルミ缶、スチール缶
- ・ペットボトル
- ・生きびん、無色びん、色付びん
- ・白色トレイ
- ・廃食用油



### 【検討案】

- ・新聞
- ・ダンボール
- ・雑誌(雑紙)
- ・衣類
- ・牛乳パック
- ・アルミ缶、スチール缶
- ・ペットボトル
- ・生きびん、無色びん、色付びん
- ・白色トレイ
- ・廃食用油

- ・布類
- ・飲料缶以外の缶類
- ・色付きトレイ
- ・発泡スチロール
- ・ペットボトルキャップ
- ・乾電池

## ●小型家電の回収体制の拡充

### 【現在の回収方法】

清掃センター、リサイクルプラザへ直接持込み

### 【検討案】

現在の回収方法に加えて

一部の製品(パソコン等)を除き、市役所、各サービスセンターにてボックス回収を検討する。



## ●その他の資源回収品目の検討

不燃物から効率的に回収可能な資源化品目(例えば金属類)を検討する。



## ●ごみ減量等推進員の導入

### 【ごみ減量等推進員とは…】

ごみの減量の啓発・資源化の促進、ごみの出し方や分別指導など、市の施策にご協力いただいている方  
 <近隣自治体の状況>

	名称	導入時期	活動内容	委嘱	人数	任期	報償
半田市	3Rアドバイザー	H5. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステーション巡回によるごみ出しマナー指導（自由参加）</li> <li>・説明会、意見交換会（年2回程度）</li> </ul>	各行政区	627名	2年	無償
東海市	3R活動地域推進員	H5. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステーション巡回によるごみ出しマナー指導（自由参加）</li> <li>・説明会、意見交換会（年2回程度）</li> </ul>	各コミュニティ	12名	1年	無償
大府市	環境美化推進員	H22. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量、資源化に関する指導（自由参加）</li> <li>・環境美化に関するイベントへの参加（年数回程度）</li> <li>・説明会、意見交換会（年3回程度）、活動内容の報告（月1回）</li> </ul>	各自治区	53名	1年	60,000円/年

#### <常滑市の状況>

- ・530とこなめ(ごみ減量化市民活動グループ)の活動(H24. 1に会員16名で発足)
- ・ごみ収集場所は、地区管理

#### <知多市の状況>

- ・資源の地域回収時に、各地区で当番者による立会い。
- ・ごみ収集場所は、地区管理(新設、移設、廃止含む)

### 【検討のポイント】

メリット …身近な方による市民の方にごみの排出やごみと資源の分別方法などの適正指導が可能。  
 デメリット…地区役員さんの負担増。

(現状においても地域回収やごみ収集場所の管理を依頼している。)

# ○市民サービス向上に向けた施策（案）

- ごみ収集場所維持管理への支援  
カラスよけネットの無償貸与、交換



- 清掃センターのごみ搬入時間、リサイクルプラザの資源搬入時間の延長

【現在】

【検討案】

清掃センター

リサイクルプラザ

清掃センター

リサイクルプラザ

平日 9:00~15:00  
土曜日 9:00~11:00

平日 9:00~16:00  
土曜日 9:00~11:00  
日曜日 9:00~11:00

平日 9:00~15:30  
土曜日 9:00~11:30

平日 9:00~16:00  
土曜日 9:00~11:30  
日曜日 9:00~11:30

~~~~ メモ ~~~~